

## 重点施策 8 人権文化の根づくまちづくりをめざし、あらゆる差別、偏見を解消するための人権・同和教育の推進

### 【施策方針】

日本国憲法は、日本国民に総ての基本的人権の享有を認め、法の下に平等であることを保障している。この法の精神を人権・同和教育実践の中で養い、差別のない明るく住みよいまちづくりを推進するため、生涯学習の観点に立ち教育条件の整備と推進体制の充実、人権尊重の意識の高揚を図る啓発活動並びに人権に関する総合的な学習活動の推進に努め、人権啓発課とともに同和問題をはじめとするあらゆる人権問題解決に努める。

### 【実施状況】

#### (1) 主な施策・事業

- ① 市人権・同和教育研究大会の開催
- ② 人権問題学習講座の開催
- ③ 連合子ども会交流事業の充実

#### (2) 施策・事業の実施状況

##### ① 市人権・同和教育研究大会の開催

2月20日(土)に、市人権・同和教育研究大会を開催予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった。午前中は「就学前教育、社会教育、家庭教育」、「小学校教育、行政・企業・福祉会館等」、「中学校・高等学校教育、行政、企業、福祉会館等」の三つの分科会を行い、午後は全体会として市民約800名が参加して、小・中・高校生と一般の代表による人権作文の発表後、全盲の弁護士：大胡田誠氏に「対話こそが共生社会を開く鍵」と題し講演していただく内容だったが、小・中・高校生の発表を除き、全て次年度で発表・講演いただくこととなった。

##### ② 人権問題学習講座(指定地区館)の開催

平成18年度までは4地区公民館で2回ずつ計8回開催していたが、開催地区公民館の負担軽減と参加者の固定化を防ぐため、令和元年度から3地区公民館で2回ずつ計6回の開催に変更した。令和2年度は、感染対策の上、宮内、白浜、日土地区公民館で開催した。

地域の希望を取り入れ、地域の実情に応じた学習講座の開催を心がけることにより、多数の方に参加していただくことを目指して、外部講師や生涯学習課から社会教育指導員を派遣し人権問題の啓発に努めた。

##### ③ 連合子ども会交流事業の充実

毎年、夏休みの初めに開催しているが、この会を通して、普段顔を合わせる機会の少ない他の地区(校区)の子ども同士が、仲間意識をはぐくみ、互いを尊重し合い、人権感覚を磨くことができている。

令和2年度も、市内小学生の参加を募り、午前中は中央公民館保内別館においてゲームや工作で親睦を深め、昼食後、伊方町の室鼻公園海水プールで水泳を行い、子どもたちの交流を深めることを計画したが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった。

### 【事務事業点検評価委員意見】

- 市人権・同和教育研究大会は、市民が人権・同和教育について研修するよい機会である。今年度も、午前中は、報告と研究協議、午後は、人権作文発表と講演を実施の予定であった。新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となったが、報告・講演は、次年度に同じ内容で実施していただけるのでありがたい。報告者は、第1分科会（保育所・公民館）、第2分科会（小学校・就労支援施設）、第3分科会（中学校・朗読ボランティア）となっており、有意義な取組が報告されると思われる。また、講演をしていただく全盲の弁護士、大胡田誠氏は、大変素晴らしい方なので、次年度ぜひ講演を聞きたい。人権尊重作文の発表者は、八西CATVで作文を発表し、市民にとってもよい啓発活動になったと思う。今後も、人権について深く考える機会となるような大会にしてほしい。
- 地区公民館で実施する人権問題学習講座では、主に高齢者を対象に分かりやすく楽しい人権講座を実施している。今年度の指定地区館は、宮内、白浜、日土地区公民館であるが、感染対策をしながら、年に2回人権講座が実施できていた。特に白浜地区公民館の、障害者就労支援事業所も参加しての防災訓練の実施は、多くの準備が必要であったと思う。障がい者への理解と人権意識の向上を目指した取組が参考になった。今後も、人権啓発課との連携を深め、情報を共有し一層充実した研修にしてほしい。
- 連合子ども会交流事業は、市内の子どもたちが共に活動しながら、思いやりや仲間意識を育む、よい機会となっている。コロナ感染拡大防止のため、今年度は中止となったが、共にゲーム・水泳・工作などの交流をとおして温かい人間関係を育てることは重要である。来年度は、ぜひ実施してほしい。

### 【自己評価】

- 市人権・同和教育研究大会は、例年1,000人近い市民が集い、人権・同和教育問題について理解を深める学習の場として非常に有意義な大会である。今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となったが、次年度に延期して、全盲の弁護士：大胡田誠氏に講演していただくこととなっている。今後も幅広く意見を取り入れながら、多くの市民に参加いただける大会になるよう努めたい。
- 地区公民館での人権問題学習講座は、隣保館館長や社会教育指導員が講師となり、高齢者を主体としたわかりやすく趣向を凝らした講座を実施し、人権に対する理解を深め、差別のない明るく住みよい地域をつくるための一助になったと思われる。引き続き、人権啓発課、関係団体との連携を取りながら、一層の推進に努めたい。

- 連合子ども会交流事業では、市内の子どもたちが、学校や学年の垣根を越えて交流する貴重な機会であり、コロナ収束を見据え、引き続き関係部署と連携を取りながら、子どもたちの人間関係を深め仲間意識を育てるに相応しい内容を企画し、人権を大切にする意識を育てていきたい。